



燃料電池大型トラック 「日野プロフィア Z FCV」新発売

日野自動車(以下日野)は、カーボンニュートラルと水素社会の実現に貢献すべく、環境性能と実用性を両立した国内初の燃料電池大型トラック量産モデル「日野プロフィア Z FCV」を発売しました。

同車両は、日野の大型トラック「日野プロフィア」をベースにトヨタ自動車株式会社と日野が共同開発。大型トラックに求められる耐久性と信頼性を確保するとともに、シャーシは燃料電池車に最適なパッケージングを専用設計し、荷台スペースと積載量の最大化を図っています。パワートレインにはトヨタ「MIRAI」に採用しているFCスタックをベースに大型商用車向けに改良したものを2基搭載し、日野の大型車・電動車技術と走行制御を導入しました。水素充填時間15～30分で、幹線輸送に実用的な航続距離650km※を確保しています。

なお、車両はFCの普及期を見据え、量産工場である古河工場(茨城県古河市)のディーゼル車と同じラインで混流生産します。 ※日野社内測定値(お客様の使用環境・運転方法により航続距離は変化します)



日野プロフィア Z FCV



間もなく繁忙期だからこそ安全の確認を 「正しい運転・明るい輸送運動」を実施中

全日本トラック協会では「正しい運転・明るい輸送運動」を実施します(11月16日～2026年1月10日まで)。この運動は、交通・労働災害事故を防止し、環境保全および輸送秩序の確立により、円滑な輸送の達成、そして年末年始の安全・安心な輸送サービスの提供を目的としたものです。経営トップ、管理者および従業員が一体となり、安全確保に向けて積極的な取り組みをお願いします。

「正しい運転・明るい輸送運動」
について詳しくはこちら

